

				NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報			
				発行人/理事長 馬場 英男			
				(連絡先) 〒625-0062 京都府舞鶴市森 875-2			
				TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764			
				E-mail brick@iris.eonet.ne.jp			
特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴							
会報 105号 平成30年8月1日							
「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ				http://www.redbrick.jp/			

目次

1 平成30年度通常総会 報告	事務局	4 「築地居留地に絡む人々」	小野 章
2 「第8回近代化遺産視察会」報告	小野 章	5 その他 ・ 横浜大会参加者募集 ・ 編集後記ほか	事務局
3 連載『我が国の近代土木遺産』	こいけりか さん		

1. 平成30年度通常総会 報告

事務局

平成30年6月10日(日)、平成30年度特定非営利活動(NPO)法人赤煉瓦倶楽部舞鶴の通常総会を開催しました。

以下、5議案を審議し全員異議なく承認されました。その概要を報告します。

第1号議案 平成29年度事業報告 (会報で主な事業は報告済みのため省略します)

第2号議案 平成29年度決算報告 以下の通りです。

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	112,000	新入2名、個人50名、法人1団体
2 事業収入	541,586	サマーイルミネーション、市外視察参加費、海軍制菓術参考書販売 ほか
3 寄付金等収入	77,640	寄付金、募金
4 雑収入	366	受取利息ほか
当期収入合計(A)	731,592	
前期繰越正味財産額	1,387,831	
収入合計(B)	2,119,423	

支出の部

科目	金額(円)	備考
1 事業費	497,534	市外見学会費用、サマーイルミネーション事業、海軍制菓術参考書印刷ほか
2 管理費	536,647	旅費交通費、会報印刷費、通信運搬費ほか
3 法人税・住民税及び事業税	0	
—	—	—
当期支出合計(C)	1,034,181	
当期支出差額(A)-(C)	-302,589	
次期繰越正味財産額(B)-(C)	1,085,242	

第3号議案 平成30年度事業計画

平成30年度も引き続き、法人の目的を達成するため、まちづくりの推進を図る事業及び学術、文化、芸術を図る活動を行うこととし、主に以下の事業を実施する事としました。

- ① 市内赤煉瓦建造物の見学会(吉坂砲台跡)4月15日(日)実施済 ② 旧丸山小学校保存再生プロジェクト・廃校舎保存活用事例見学会(綾部市里山小・丹波町日質美小)5月26日(土)実施済 ③ 市外の近代化産業遺産視察旅行(京都市伏見区)7月4日(水)実施済、今号で報告。④ 赤煉瓦ネットワーク横浜大会(11月10~11日)参加 予定。その他

第4号議案 平成30年度事業会計予算

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	106,000	入会2名、個人会員52名
2 事業収入	334,300	市外視察・廃校舎見学会費、冊子販売ほか
3 寄付金等収入	55,000	募金、寄付金
4 雑収入	7	受取利息
当期収入合計(A)	495,307	
前期繰越正味財産額	1,085,242	
収入合計(B)	1,580,549	

支出の部

科目	金額(円)	備考
1 事業費	316,116	市外視察旅行、冊子印刷ほか
2 管理費	494,000	旅費交通費、会報印刷費、通信運搬費ほか
3 法人税・住民税	0	
—	—	—
当期支出合計(C)	810,116	
当期支出差額	-314,809	(A)-(C)
次期繰越正味財産	770,433	(B)-(C)

第5号議案 定款変更について

平成28年に改正された特定非営利活動促進法(NPO法)により義務付けられた「貸借対照表の公告」の施行日が、平成30年10月1日に決まった事に伴い、当法人の定款第55条を変更し、貸借対照表の公告方法を、法人のホームページに掲載して行う事とした。

2. 「京都市伏見区の視察について」第8回近代化遺産視察会報告

(会員 NO.9 理事 小野 章)

7月4日(水) 煉瓦建造物の近代化遺産が多数残されている京都市伏見区の視察を、鳥羽伏見の戦い150周年と併せて実施しました。(参加者24名)

台風7号の影響で雨模様のなか出発し、聖母女学院本館(旧陸軍第十六師団司令部庁舎)に到着、明治41年に建てられたイギリス積み赤煉瓦銅板葺きの壮麗な建物を見学しました。戦後の昭和24年に聖母女学院が払い下げを受けて、空襲対策で黒く塗られていた壁を洗い赤煉瓦に戻しました。床の保護材は無数の傷と共に残され往時の雰囲気を感じます。[写真は、本館をバックに全員記念撮影]



昼食後は、伏見インクライン跡(関電墨染発電所)を視察。これは大阪との水運のネックとなる琵琶湖疏水の15mの落差を克服するために明治28年に開設された設備で、昭和18年まで使用されました。かつて傾斜10%、290mのレール上を昇降する台車で日に100隻の船を運んでいました。

[写真は、伏見インクライン跡&関電墨染発電所]



次に京セラ本社ビルのファインセラミック館と美術館を訪問、起業当時から現在まで常に時代の最先端を走ってきた同社の製品開発の歩みを解説してもらい、日常のあらゆる部分に欠かせないセラミックの重要性を認識しました。

ついで、伏見の風景の象徴ともいえる松本酒造の建物を見学しました。迎えて下さった松本保博社長は、明治後期の元ポイラー棟であった赤煉瓦棟と八角形の煉瓦煙突を今後とも保存し活用してゆきたいとの意思を披露され、特に耐震化工事に係る苦勞話をされました。工事には舞鶴市の協力もあったとのこと。赤煉瓦棟・煙突は隣接する大正12年築の「大黒蔵」と併せて平成25年に国の登録有形文化財に登録されました。[写真は、元ポイラー棟と煙突]



その後、一行は鳥羽伏見の戦いで薩摩藩の陣地となった御香宮神社と薩摩藩の号砲でこの戦いが開始された鳥羽灘宮跡公園を訪問し、近代日本の出発点となった150年前の情景に思いを馳せて伏見区を後にしました。[写真は、鳥羽伏見の戦いの場、記念公園となっている]



3. 連載「我が国の近代土木遺産」 ～ ドボクイサン重箱の隅 ～

こいけりか (特別会員 NO. 87、(株)奄美群島環境文化総合研究所代表取締役)

「煉瓦構造物のある街」というと皆さまはどの街、どの地方を思い浮かべるだろうか？

雪に映える北海道庁、改修工事が終わり観光客の撮影スポット化している東京駅、ほかにも横浜や神戸、三井三池炭鉱のある大牟田や荒尾、赤煉瓦ネットワークの大会が開催され広く「煉瓦のまち」として認知されている舞鶴や半田を思い浮かべる人も多いと思うが、「沖縄」を挙げる人は殆どいないのではないだろうか？そもそも沖縄に煉瓦構造物があったのか？と思われる方も多いと思う。

沖縄の煉瓦構造物の有無が気になったのは、赤煉瓦ネットワーク

の土木構造物の赤煉瓦番付制作が発端だ。全国各地の煉瓦土木構造物を探すなかで、沖縄以外の都道府県には、有名無名、規模の大小は別に様々なものが残り、建設当初の用途で変わらず使われ続けているものが少なくないと実感したのだが、第二次世界大戦の苛烈な地上戦で著しく損壊された那覇市内をはじめ沖縄県内の煉瓦構造物を探すことはなかなか困難な作業に思えた。仕事で那覇に赴いた際、街なかを歩いても終戦後に建てられたと思われる赤瓦の木造民家や戦火に耐えた首里城界隈の石造の構造物はあるが、煉瓦のものは見当たらず落胆しはじめた頃、那覇の街なかで偶然の出会いがあった。



画像①三重城の地面の煉瓦基礎跡



画像②踏み石に使われる煉瓦塊



画像③切り分けられ積まれる煉瓦塊

琉球王朝時代の那覇港は、先島諸島や鹿児島、朝貢貿易先の中国等への航路の拠点として繁栄し、当時、港に出入りする人の歓送迎の場となっていた三重城(みへぐすく)という場所が現在も「聖地」として大切にされている。画像①～③は、三重城に残る煉瓦の基礎跡と白いモルタルが付着したまま約40cm角に切り分けられ積み上げられた煉瓦塊である。煉瓦塊はサンゴの石垣の裏側に積み上げられており敷地外からは存在が全く分からないのだ。

三重城の煉瓦基礎跡をさらに調べてみると、沖縄で初の近代式灯台が1896(M29)年に先原崎と津堅島に建設され、三重城には1900(M33)年に煉瓦造の四角い灯台が竣工したことが海上保安庁や那覇市歴史博物館のサイトで確認できた。先原崎(さちばるざち)

は那覇港を挟んだ三重城の対岸に位置し、那覇空港敷地内になるため外部の道路沿いに説明表示が設置されている。沖縄の煉瓦灯台の全てが第二次大戦の爆撃で崩壊し煉瓦塊が転がる遺構になってしまったことが非常に残念だが、海保のサイト上の資料には、灯台の吏員待避所の建物等も煉瓦建築ではないか？と思われる古写真も見られる。沖縄の隣県の奄美大島には海軍が建設した煉瓦水槽や白糖工場跡も確認されているため、今回の灯台以外で沖縄にも煉瓦の建物や構造物があった可能性も否めないのではないだろうか？

沖縄の煉瓦土木構造物の有無は、2018年11月10日(土)の赤煉瓦ネットワーク横浜大会でお披露目予定の番付にご期待されたし！！

4. 「築地居留地に絡む人々」

(会員 NO. 9 理事 小野 章)

昨年8月にNHKのシリーズ番組「フランケンシュタインの誘惑」で放映された「消された指紋」は、「健康社築地病院」を12年間開業していた英国の宣教師ヘンリー・フォールズが世界初の指紋識別法を発見したが、無名の貧しい医者であったため、永らくこの方式の創始者という名誉は手にできなかったという内容であった。

彼が指紋に関心を持ったのは、日本で指印の習慣を知り、またエドワード・モースの大森貝塚の発掘を手伝う中で、土器に残された指紋を見たからという。彼が来日せず、モースとの出会いがなく、また貝塚が線路沿いになければ、指紋識別法の発見は遅れていたかもしれない。

明治初期の築地外国人居留地の見取り図を見ると、確かに18番の区割りに彼の名が記してある。これは現在の聖路加国際病院の筋

向いであり、事実彼の帰国後に米国人宣教師が彼の病院を買取り「聖路加病院」と改め現在に至る。

ところで、聖路加国際病院西隣りの聖路加国際大学の敷地は、元禄時代に浅野内匠頭の上屋敷があった場所であり、赤穂浪士らが吉良邸討ち入りを果たし泉岳寺へ向かう際にその前を通ったところである。その時は既に他藩藩邸になっていた。また、明治25年に芥川龍之介はこの敷地の一角で生まれた。現在この二つの史実を記した表示板が並んで立っている。

龍之介は、この地の乳牛牧舎の支配人・新原敏三の長男として生まれたが、生後間もなく母が精神を病み10か月で母の実家芥川家に引き取られた。しかし、その家は奇しくも吉良上野介邸の近くであった。

新原敏三は長州の農民の出で、戊辰の役で長州藩御旗隊に加わり、明治12年から渋沢栄一、益田孝、三井八郎右衛門らの共同経営になる「耕牧舎」に勤務した。16年から支配人を務め、東京屈指の牛乳販売業者となった。

現在の聖路加国際大学の敷地は当初は居留地に含まれず、明治7年に五代友厚が（大久保利通の計らいで）東京府から「貿易会社」の用地として借用しており、全体（5732坪）のうち耕牧舎は770坪を又借りし、明治16年から営業を開始した。しかし、明治26年からこの五代の借用地は外国人居留地に統合されることになり、耕牧舎

の牛舎も余儀なく内藤新宿に移転した。

龍之介は、内藤新宿の牛舎（7000坪）にある家に養父母と引っ越し、ここから一高へ通った。青少年時代に好きだけ牛乳を飲むことができたはずの龍之介が、晩年まで一貫してひどく痩せて病人のような風貌であったことは、不思議である。

なお、五代借用の土地には豊前国中津藩中屋敷だった部分も含まれ、1774年ここに住む藩医前野良沢は小浜藩医杉田玄白らと「解体新書」を刊行した。また1858年藩士福沢諭吉は藩邸内に蘭学塾（慶應義塾の前身）を開いた。



「晩年のヘンリー・フォールズ」



「聖路加国際大学」



「浅野内匠頭邸跡の碑」



「芥川龍之介生誕の地の揭示」

参考：「ミルクと日本人」（武田尚子著、中公新書）、「忠臣蔵の時代」（NHK出版）、「指紋を発見した男」（コリン・ビーヴァン、主婦の友社）など

5. その他 横浜大会参加者募集 & 編集後記 ほか

事務局

1 赤煉瓦ネットワーク横浜大会への参加者募集

本年11月10日・11日に神奈川県横浜市において全国大会と見学会が予定されています。当倶楽部からも団体参加を予定しています。つきましては、**大会への参加希望者は、8月中に事務局までお知らせください。追って、案内資料等お渡しします。**

- 大会概要 11月10日 13:00~17:00 YCC(横浜クリエイティブシティセンター)3階
 ①基調講演(秋元康幸) ②奄美の煉瓦と五島市の煉瓦 ③赤煉瓦土木遺産番付のお披露目
 17:30~20:00 懇親会 (大陸食堂/南仲通り2-24-1)
- 11月11日 9:00 集合~11:30 解散予定
 ①港湾施設コース みなとみらい2 1地区~臨港パーク~ドックヤードガーデン~新港埠頭~象の鼻テラス~山下公園
 ②近代建築コース 黄金町地区~吉田町~伊勢佐木町~日本大通り~象の鼻テラス~赤レンガ倉庫~山下公園
- 会 費 ・大会参加費+懇親会+まちあるき ¥6,000/人 ・大会参加費+まちあるき ¥1,000/人

2 編集後記

前104号会報で降水対策について述べましたが、今月初めに発生した西日本豪雨のすごさは想像を絶する出来事でした。従来は台風時等の最大時間雨量対策の備えで事足りましたが、今回のような数日間前線が停滞して降り続く大雨量対策は、過去のデータに依拠する方法では対応できず、今後、土木の専門家も従来の河川工学・水理学を大幅に見直すきっかけにしてください。法面の円弧すべりの計算を思い出しますが、最近多発する山林での地すべりの現象を解明できるのか案じます。舞鶴市でも、一級河川由良川、二級河川高野川流域や市内中小河川で冠水・浸水被害が多発しており、国・府・市の連携などの対応の遅れが気になります。(H.B)

会 員 資 格： 会費納入者（特別会員は除く）。入会金1,000円、年会費（個人2,000円、法人10,000円）。
 なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けています。
 会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 (01010-6-21476) 加入者名： 赤煉瓦倶楽部舞鶴